

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

| | |
|-------------------------------------|---|
| 事業所名 | グループホームひだまりの家 |
| 日付 | 平成17年1月31日 特定非営利活動法人 |
| 評価機関名 | 高齢者と痴呆の人のケアを大切にする会 LIFE SUPPORT推進グループ 評価調査員 在宅介護経験15年 |
| 評価調査員 | 看護、訪問看護経験4年、福祉系 短期大学教職員経験7年 |
| 自主評価結果を見る | |
| 評価項目の内容を見る | |
| 事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！) | |

外部評価の結果

| |
|---|
| 講評 |
| <p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>海が近く、古い農家が多い自然の中に立地して、グループホームもこの環境に馴染める建物で、外壁は白漆喰に焼杉板張り、内部も真壁で白漆喰である。利用者も自分の周りの家を思い出していることだろう。利用者の中には農業をしていた人もあり、職員と一緒に鍬やスコップを使い、畦づくりをする本格的な野菜づくりをしている。外回りはこの菜園の他に花と果物の畑や芋畑等もあり、昔を思い出しながら外で過ごすことが多い。ホームの中庭は、広いウッドデッキのテラスがあり、日傘や机をセットしてバーベキューやティーパーティもする。食事の準備も利用者は沢山の人が手伝っている。野菜の皮むきや包丁さばきをする人、盛り付けする人等、昔とった杵で分担している。</p> <p>病院から移って来た人が多く、「髪の毛が増えた」「白いところに黒い毛が生えてきた」「この生活は安心できる」という言葉を聞いて、「いつも利用者と一緒に何かをする」という管理者の言葉と職員のさりげなく適切に行われている支援で確認できた。</p> |
| <p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>次のような提案をした</p> <p>痴呆を専門とする法人であり、又その診療病院の元で活動しているグループホームである。グループホームの運営方針には、痴呆ケアの中で何を重要視して利用者をケアしていくのか具体的に示して貰いたい。痴呆ケアは、唯利用者と一緒にさりげなく過ごしておれば良いのか、利用者の気持や思いを表出させるために何をすれば良いのか等もっと明確にして貰いたい。</p> <p>グループホームに本人や家族から苦情はないということであるが、本人も自己主張出来ないこともある。家族も遠慮しているところも多いと思う。何でも気軽に言える仕組みと環境をつくって欲しい。</p> <p>利用者の心身の機能低下を防ぐ為に、1日の生活の中でみんなが揃って身体を動かしたり、大声を出したり、歌を歌って、刺激を与えるリハビリを少しずつ積み重ねていくことも必要ではないでしょうか。</p> |

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|-------------|--|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か | | |
| | <p>生活の中で利用者と一緒に、その時々でやりたい事をしましよと、職員が手助けしていくことが基本の方針であり、利用者のしたいことを聞いたり、察したりして、職員は利用者が好きな事をしながら毎日静かに生活していることを支援している。</p> <p>その中で、利用者が家の中にこもらず、外出して楽しんだり、庭に出て草花や農作物に触れて自然と馴染めるようにすることも生活の目的としている。</p> | | |

生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|-------------|---|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か | | |
| | <p>昔の造りの家であり、周りにはウッドデッキや農園、花畑がある。利用者の多くが、自分の生活してきた家を思い出させるのではないかと思う。各部屋は掃き出しの窓があり、サッシを開くと濡縁がある。庭やウッドデッキに窓から出られる。布団を干している人もいる。自分の部屋の外へ花を植える人もいる。落ち着いた生活が出来る。</p> <p>廊下やリビングルームの壁に利用者の写真や作品を沢山貼って色々な話題にして貰いたい。漆喰壁が多いので貼り難い。貼り方を少し考えて貰いたい。</p> | | |

ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | | |
| 7 | 個別の記録 | | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | | |
| 9 | チームケアのための会議 | | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | | |
| 14 | 一人でできることへの配慮 | | |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 | | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|-------------|---|-------|-----|
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | | |
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | | |
| 20 | プライドを大切にされた整容の支援 | | |
| 21 | 安眠の支援 | | |
| 22 | 金銭管理と買い物支援 | | |
| 23 | 痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | | |
| 24 | 身体機能の維持 | | |
| 25 | トラブルへの対応 | | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | |
| 28 | 服薬の支援 | | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | | |
| 30 | 家族の訪問支援 | | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か | | |
| | <p>日常、利用者の過去の経験を生かして家事をしたり、散歩やドライブそして泊旅行をして、利用者が元気に暮らして貰う事に努力していることは素晴らしいと思った。利用者と話をすると、皆さん良く話をしてくれる。そしてこの人は痴呆なのかと思う位、しっかりとした話をする人もいる。こちらの身を案じたり、励ましてくれたりする人もいる。反対に自分の不満なこと、不安に思っていることを話してくれる人もいた。利用者の本音を引き出して、不安を少なくしてあげることも痴呆ケアには必要だと思うので、日頃みんなと賑やかに話をする機会を作って貰って、何気なく話す言葉の聞き分ける努力もして欲しいと感じた。</p> | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|-------------|--|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | |
| 32 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | | |
| 33 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | | |
| 34 | 地域との連携と交流促進 | | |
| 35 | ホーム機能の地域への還元 | | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 | | |
| | <p>精神医学研究所、痴呆疾患専門病院、グループホームと医療から福祉介護まで一貫して、痴呆高齢者に向き合っている法人である。職員はこの法人の研修にも参加して、色々な知識を得ることも出来る。</p> <p>利用者は近くの地域から来ている人も多いため、地域の人にも馴染めるかも知れない。又家族も良く来てくれるが、まだ本人・家族・グループホームが本音で話せる境遇になっていくかどうかは分からない。</p> <p>これらが改善されて利用者-家族-グループホーム-地域が一体となると、サービスの質もどんどん向上していきたくらうと期待する。</p> | | |